

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	ふじみ野市における市民の住環境の向上（第2期）（防災・安全）											
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	ふじみ野市											
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を想像する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	102	A	102	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画的成果目標（定量的指標） 定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H30当初)	(R2末)	(R4末)
1	緊急輸送路および避難路下の公共下水道マンホール浮上防止対策実施率を0%（H30）から100%（H34）にする。 マンホール浮上防止対策実施率 浮上防止対策実施済み箇所（基） / 浮上防止対策必要箇所（220基）	0%	100%	100%
2	ストックマネジメント計画を策定する。（H31） ストックマネジメント計画策定率 ストックマネジメント計画策定件数（1件） / スtockマネジメント計画を策定すべき件数（1件）	0%	100%	100%
3	ストックマネジメント点検調査を実施する。（60km） ストックマネジメント点検調査実施率 ストックマネジメント点検調査実施延長（km） / スtockマネジメント点検調査すべき延長（60km）	0%	33%	100%
4	ストックマネジメント修繕・改築実施設計を策定する。（R4） ストックマネジメント修繕・改築実施設計策定率 ストックマネジメント修繕・改築実施設計策定件数（1件） / スtockマネジメント修繕・改築実施設計を策定すべき件数（1件）	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	-----------------------	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	ふじみ野市	直接	ふじみ野市	管渠(汚水)	改築	マンホール浮上防止対策事業	マンホール浮上防止対策	ふじみ野市						9	-	
		ストックマネジメント計画																	
	A07-002	下水道	一般	ふじみ野市	直接	ふじみ野市	管渠(汚水)	改築	ストックマネジメント計画策定	計画策定	ふじみ野市						20	策定済	
		ストックマネジメント計画																	
	A07-003	下水道	一般	ふじみ野市	直接	ふじみ野市	管渠(汚水)	改築	ストックマネジメント点検調査	点検・調査延長 60km	ふじみ野市						66	策定済	
		ストックマネジメント計画																	
	A07-004	下水道	一般	ふじみ野市	直接	ふじみ野市	管渠(汚水)	改築	ストックマネジメント修繕・改築実施設計策定	修繕・改築実施設計策定	ふじみ野市						7	策定済	
		ストックマネジメント計画																	
											小計						102		
											合計						102		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 ホームページで公表	事後評価の実施時期 令和5年
	公表の方法 ホームページで公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	緊急輸送路上のマンホール浮上対策のほか、ストックマネジメント計画は策定している。 ストックマネジメント点検調査 60km実施 緊急に修繕を要する施設はなし
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
引き続き、ストックマネジメント点検を実施するとともに、修繕・改築計画を策定する。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
2	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
3	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
4	最終目標値	100%
	最終実績値	0%

ストックマネジメント点検で緊急に修繕を要する施設がなかったため